

2019年1月6日(日)／説教者：神谷武宏

説教：「山と丘はみな低くされる」

聖書：ルカによる福音書3：1～20

この2019年はどういう年になるのか。昨年第4次安倍内閣がスタートし、安倍政権の集大成ともいわれるこの年は、「憲法改正」への動きが加速すると見られる。また原発の再稼働の促進、消費増税10%が確実に実施される。そして沖縄名護市辺野古への新基地建設埋め立て工事が加速している。2月24日に行われる辺野古新基地建設の是非を問う「県民投票」前までに、沖縄の人々の心を折るかのように工事が加速している。この国の視座は、市民には向けられていない。

今朝のルカ福音書には、バプテスマのヨハネの登場に、時の政治状況がまず記されている。わざわざ周辺諸国の支配者、権力構造を書き並べるのは、その時代にどんな国際関係があり、その関係の中でどういう政治が行われ、民衆がどういう支配構造の中に置かれていたかを示すためである。この神の御業が示される中で、救いの出来事は、単に精神的な世界のことではなく、具体的な歴史の只中で、神の御業、救いの出来事は起こっていく。ルカ福音書はまずそのことを示そうとしている。

バプテスマのヨハネの登場にイザヤ書の言葉が記されている。この「谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる」とか、「曲がった道はまっすぐに、でこぼこの道は平らに」とか、「高いところは低くされ、くぼんだ谷は埋められる」とは、一種の社会改革を示している。でこぼこで、曲がった道かのような社会情勢に、変革を示している。ヨハネは、このイザヤ書の言葉に押し出されるように非常に厳しいことを群衆に語る。ここのメッセージは、不公平と不公正が成されている社会に対して、格差社会を当たり前のように作り出している国家に対して、その国家に隷従している群衆に対して、「下着を2枚持っている者は、一枚も持たない者に分けてやれ。食べ物を持っている者も同じようにせよ」という。ここは、あなた方にもできる「平和づくり」が語られている。富む者がさらに豊かになる、貧しい者がさらにむさぼられる社会ではなく、持っている者は持っていない者に分け合うことを、分かち合う社会を作りなさいという。そのことが、「谷はすべて埋められ」ることに繋がり、「山と丘はみな低くされる」ことに繋がるということ。

2019年、私たちにも出来る平和づくりの働きを、「山と丘はみな低くされる」というイエス・キリストが実現されるその道筋を、私たちもその道筋の只中で、豊かに用いられる器とさせて頂きたい。これは大いなる福音である。(神谷)